



Toyo Business Engineering Corporation

ご説明用資料

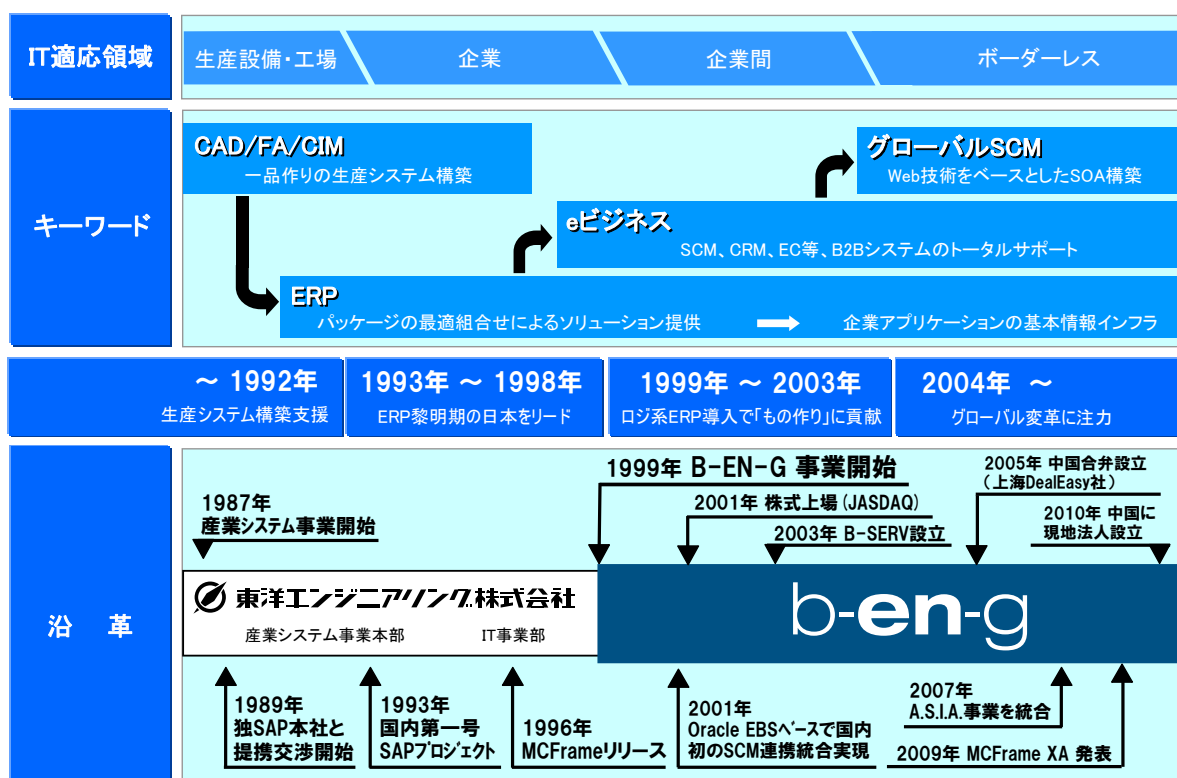
# 2012年3月期 第2四半期決算概要

2011年11月8日

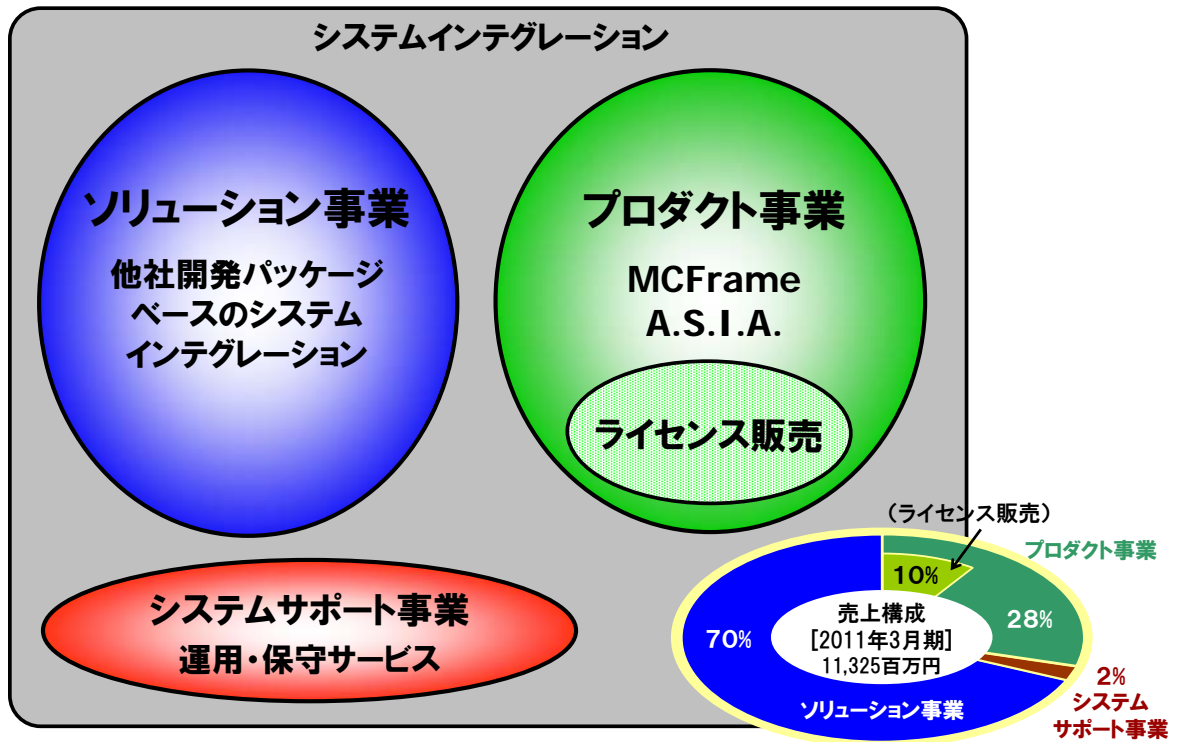
東洋ビジネスエンジニアリング株式会社

Copyright (C) 2011 Toyo Business Engineering Corporation. All rights Reserved.

## 会社沿革



## 現在の事業セグメント

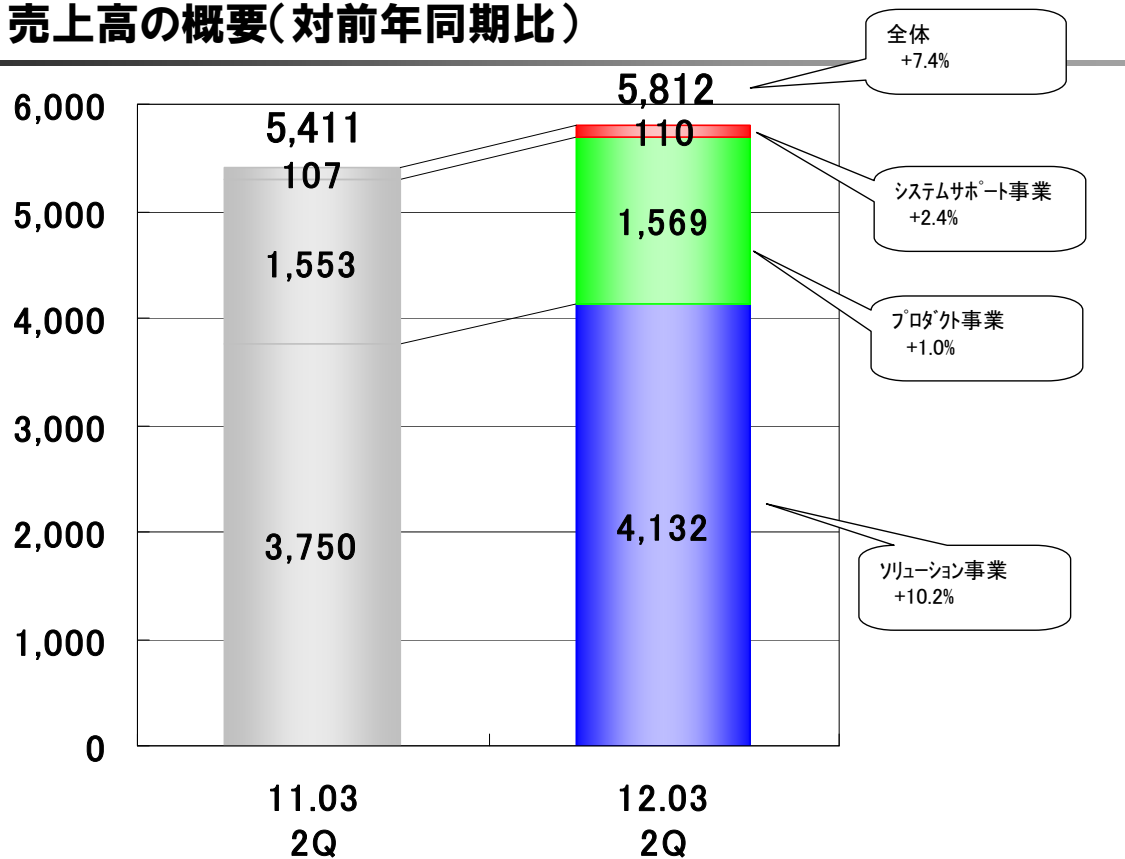


# 2012年3月期 第2四半期決算の概要

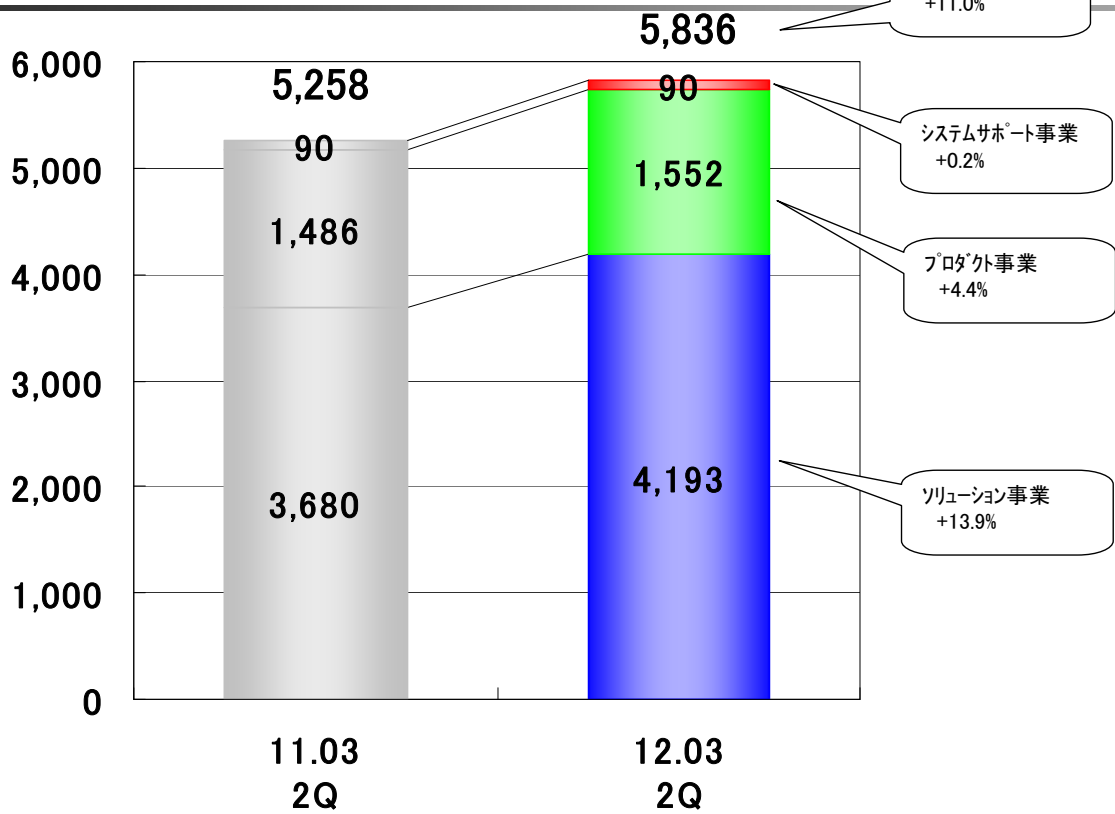
## 損益の概要(対前年同期比)

	12.03 2 Q	11.03 2 Q	差異
売上高	5,812	5,411	400
売上総利益	1,339	1,508	△168
売上総利益率	23.0%	27.9%	
営業利益	39	46	△6
営業利益率	0.7%	0.9%	
経常利益	24	28	△3
経常利益率	0.4%	0.5%	
四半期純利益	△6	18	△24
四半期純利益率	△0.1%	0.3%	
受注高	5,836	5,258	578

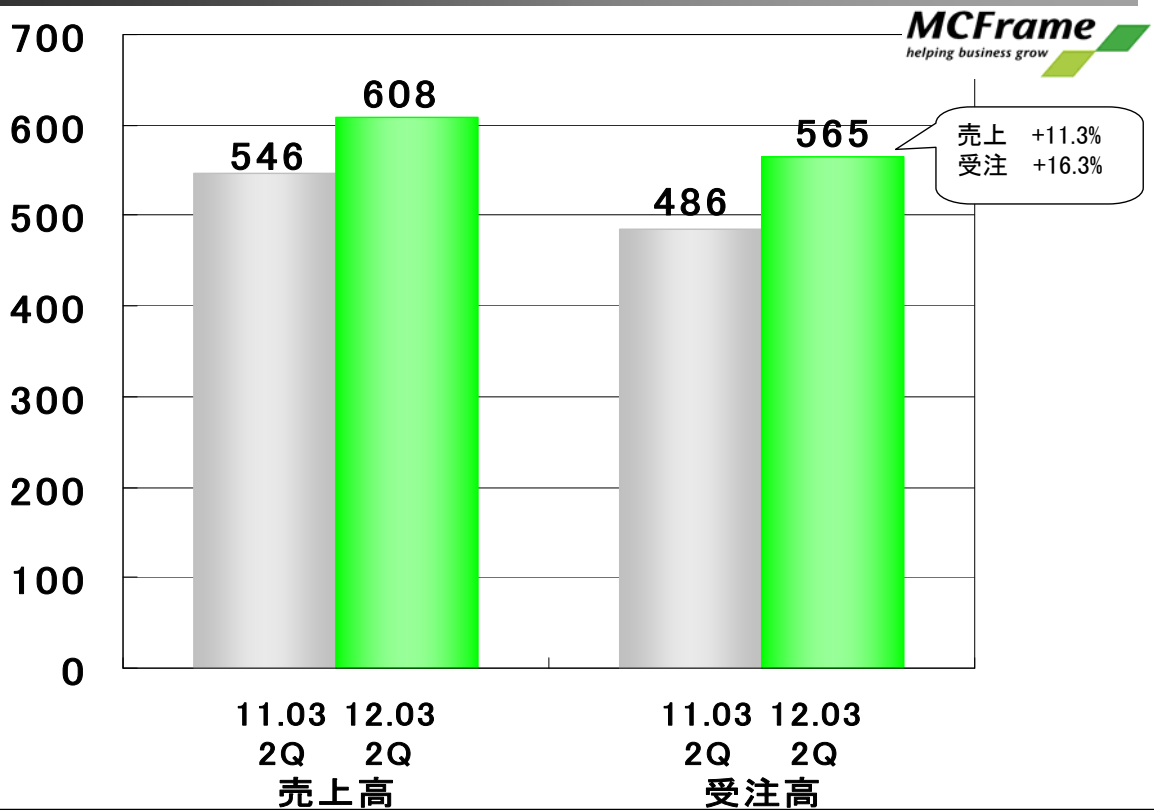
## 売上高の概要(対前年同期比)



## 受注高の概要(対前年同期比)



## MCFrameライセンス売上高、受注高の概要(対前年同期比)



## 貸借対照表の概要(1)資産の部(対前期末比)

	12.03 2Q	11.03 期末	増減
現金及び預金	548	608	△60
受取手形及び売掛金	3,069	3,420	△351
たな卸資産	930	359	570
その他流動資産	550	644	△93
流動資産計 (比率)	5,098 (72.0%)	5,033 (70.4%)	64
有形固定資産	147	165	△18
無形固定資産	1,390	1,500	△110
投資その他の資産	440	446	△5
固定資産計 (比率)	1,978 (28.0%)	2,112 (29.6%)	△133
資産合計 (比率)	7,076 (100.0%)	7,146 (100.0%)	△69

## 貸借対照表の概要(2)負債・純資産の部(対前期末比)

	12.03 2Q	11.03 期末	増減
未払勘定	872	973	△100
短期借入金	2,300	2,400	△100
その他負債	1,274	1,067	206
負債合計 (比率)	4,446 (62.8%)	4,440 (62.1%)	6
資本金	697	697	-
資本剰余金	426	426	-
利益剰余金	1,510	1,586	△76
評価・換算差額等	△4	△4	0
純資産合計 (比率)	2,629 (37.2%)	2,705 (37.9%)	△75
負債純資産合計 (比率)	7,076 (100.0%)	7,146 (100.0%)	△69

## キャッシュ・フローの概要(対前年同期比)

	12.03 2Q	11.03 2Q	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	371	△280	651
投資活動によるキャッシュ・フロー	△262	△340	77
財務活動によるキャッシュ・フロー	△170	529	△699
現金及び現金同等物の増減額	△60	△90	29
現金及び現金同等物の期首残高	608	625	△16
現金及び現金同等物の四半期末 残高	548	535	12

## 2012年3月期 通期業績予想について

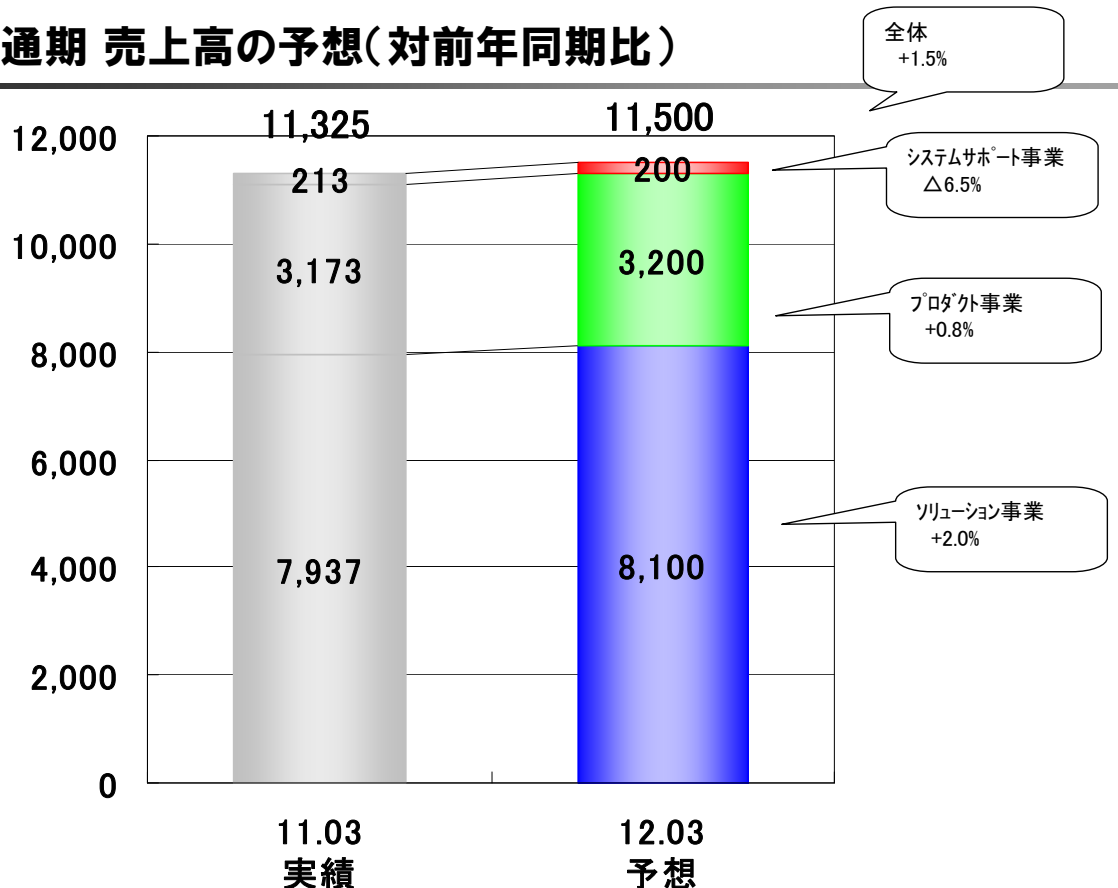
平成23年5月10日の公表値から変更なし

売上高	115.0億円
営業利益	2.6億円
経常利益	2.3億円
当期純利益	1.1億円

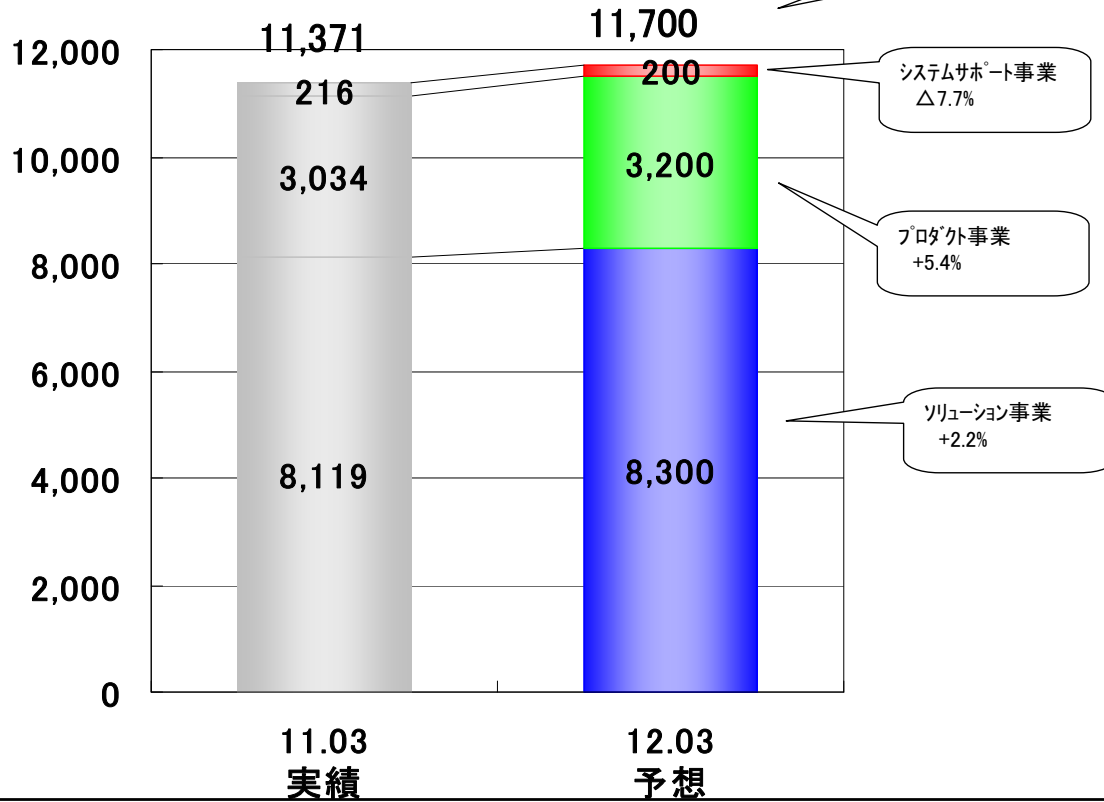
## 通期 損益の予想(対前年同期比)

	12.03 予想	11.03 実績	差異
売上高	11,500	11,325	174
売上総利益	2,940	3,013	△73
売上総利益率	25.6%	26.6%	
営業利益	260	251	8
営業利益率	2.3%	2.2%	
経常利益	230	224	5
経常利益率	2.0%	2.0%	
当期純利益	110	97	12
当期純利益率	1.0%	0.9%	
受注高	11,700	11,371	328

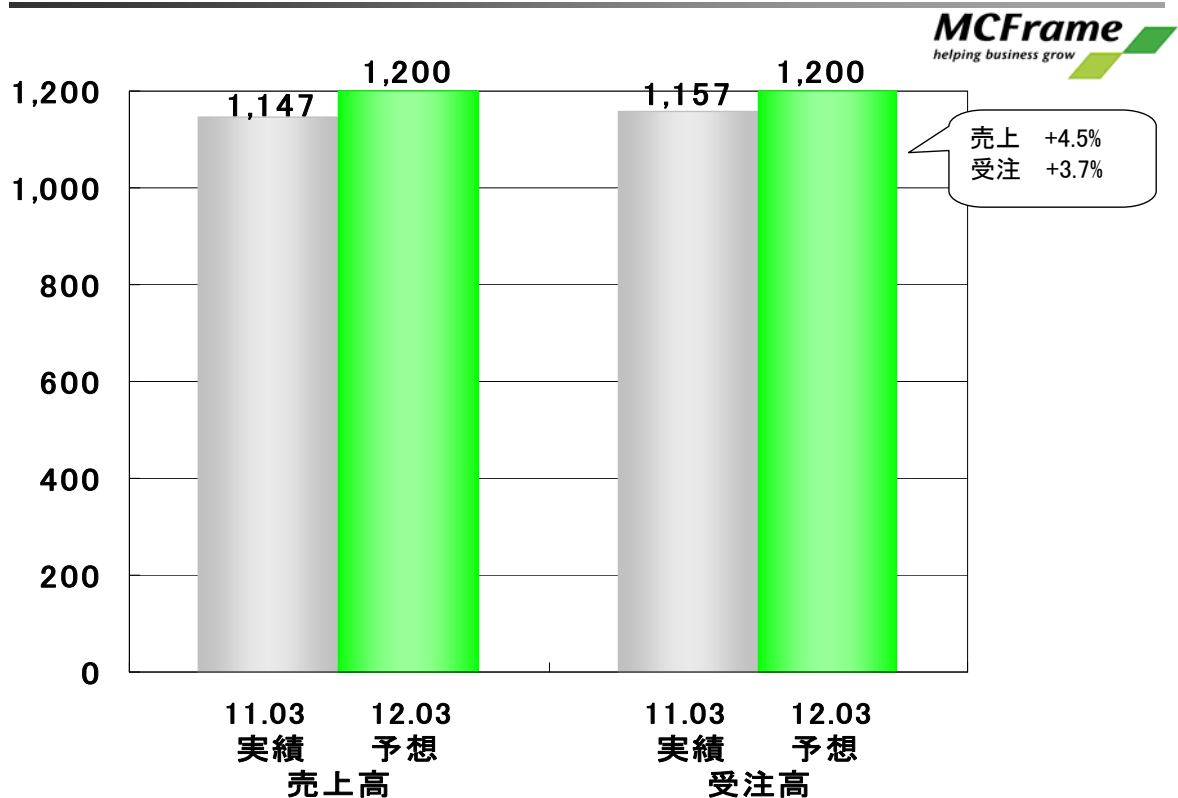
## 通期 売上高の予想(対前年同期比)



## 通期 受注高の予想(対前年同期比)



## 通期 MCFrameライセンス売上高、受注高の予想(対前年同期比)



ありがとうございました。

b-en-g

Toyo Business Engineering Corporation

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。